

出席者数が年々増える

玖珠支部

平成30年7月25日(水) 18時30分より、玖珠町の「食蔵雷峰」で、玖珠支部総会と懇親会が開催されました。

当日は、四極会本部から柴田宏二常務理事をお迎えして、会員15名が出席しました。

玖珠支部は大分大学同窓会連合会の結成の趣旨に則り、昨年からは豊友会(教育福祉科学部)か



今年も玖珠署から4人が参加

ら1名の参加をいただきましたが、今年は豊友会1名、翔工会(工学部)2名に参加していただくことができ、更には、八鹿酒造(株)OBで大分市在住の井上義彦顧問にも出席していただきました。

また、昨年に続いて今年も玖珠警察署から地域課長、警備課長等会員4名が参加してくださいました。

まず、森昌哉支部長が挨拶し、四極会という繋がりが地域において大いに有用であることの体験談、女性会員の参加が得られないが、今後も呼びかけを行いながら会員の増加に取り組みたいなどの話がありました。

次に、柴田常務理事から、4年後の100周年記念事業に向けて、これまでのイベント的なものとは異なるテーマをもった大規模なものにしたい旨及び寄付金を含めた協力の依頼、また、会員の4割が女性であることから、女性会員の積極的な参画を求めていきたい等のお話をいただきました。

続いて、事務局から経過報告、会計報告等が行われ、満場一致で承認されました。

その後、参加者の自己紹介を行い、井上顧問のご発声による乾杯で懇親会に入りました。大半の会員が1、2年振りの支部懇親会ということで、大いに盛り上がりました。また、今回初めての試みとして、森支部長、梅木一郎副支部長、八鹿酒造(株)から景品を提供して頂き、ビンゴゲームを行いました。女性会員に参加してもらうために物で釣ろうという姑息な手段でしたが、その効果はなく、男性の男性による男性のためのゲームになってしまいました。しかし、人の物欲は果てしないもので、意外に盛り上がり、また来年もやろうと意欲的な意見を頂きました。

最後に、記念写真を撮影し、梅木春美副支部長の一本締めで散会とし、各自次の会場へと散らばって行きました。

今回は、女性会員の参加を最優先課題とし、他の学部同窓会員の参加も増やし、大いに支部を活性化させたいと思います。

▼出席者(敬称略)

〔来賓〕柴田宏二常務理事
〔会員〕井上義彦(大11)、森昌哉(大19)、梅木一郎(大26)、梅木春美(大27)、左藤克樹(大29)、熊谷光頭(大34)、竹尾孝一(大36)、原野訓史(教育福祉科学部)、赤松伸一郎(大46)、山崎貴晴(大49)、後藤智教(大50)、油布武史(大50)、荒巻和也(大52)、日隈毅(工学部)、切木俊介(工学部)